



## 【年間暗唱聖句の意味の復習】

(2009総会資料より)

● **第一ペテロ1:15** 「あなたがたを召して  
くださった聖なる方にならって、あなたがた自身も  
あらゆる行ないにおいて聖なるものとされなさい。」

神の中心的なご性質こそ「聖」です。ですから当然、神の子供とされた私たちも、神に似た者となるよう、聖なる者として成長していくことが期待されるのです。神の「聖」のもっともよき模範はイエス・キリストです。主イエスは、取税人や遊女たちと交わってもご自身の聖さを失いませんでした。私たちがそのようなダイナミックな聖さを身につけ、「あらゆる行い」において「聖なるもの」となることを目指しましょう。

● **ローマ7:15** 「私には、自分のしていることがわかりません。私は自分がしたいと思うことをしているのではなく、自分が憎むことを行なっているからです。」

イエスを信じた時から私たちのからだは「聖霊の宮」となりましたが聖霊が願われることと、私たちの罪深いからだが見ることが真っ向から対立しているため、クリスチャンは内面で葛藤を覚えるようになります。私たち自身の霊は、御霊が願われることに「アーメン、その通りです!」と同意するものの、いざ実行しようとする、ものすごい抵抗を受けるのです。ここで常に思い出すべき大切な真理があります。つまり、肉の力で神に従い切ることはできない、とすることです。

● **ローマ8:13** 「もし肉に従って生きるならあなたがたは死ぬのです。しかしもし御霊によって、からだの行ないを殺すならあなたがたは生きるのです。」

では誰が罪の性質を処理して下さるのでしょうか。それは御霊です。御霊は私たちの肉の性質・・・自己中心から派生する様々な悪癖、欲望を断ち切って下さる力を持っていますが、御言葉をよく読むなら、実際に御霊が自分に手術をしてもいいよう「許可」をするのはこの「私」なのです。私自身の同意抜きに神は私の罪を処理してくださらないのです。

● **ガラテヤ5:25** 「もし私たちが御霊によって生きるのなら、御霊に導かれて、進もうではありませんか。」

クリスチャンは御霊によって生きる存在であることを納得したならば自ら進んで御霊の意志に従順になることをこの御言葉は強調しています。その結果として、御霊により罪の性質が断ち切られ、御霊の実を結んで行けるようになるのです。■

## 《2009年 年間目標》 (2009総会資料より)

### 「御霊に導かれて進もう／神の子供として成長する」

新しい年を迎え早一ヶ月が過ぎる。アメリカは新しい大統領のもとで「チェンジ」を模索し始め、早晚私たちの生活も影響を受け始めるだろう。勿論私たちは社会正義を求める。人間一人一人が自らのビジョンに挑戦できる社会機構、失敗した者がやり直しをすることができ、成功した者が傲慢に成らず、進んで他者を引き上げることに貢献するような社会、食料や必要資源が安定して供給されること等、平安で静かな生活（Iテモテ2章）を送ることができるように求め、指導者たちのために執り成すことは神から与えられた責任である。それゆえ、私たちはアメリカ政府のために執り成し、市民であろうと寄留者であろうと、与えられた責任を果たして行く。しかし、私たちが求めるものはそれ以上のものである。人々は「チェンジ」を求めているが、本当のチェンジは人から始まり、それは人が神に顔を向ける時に起きることを私たちは知っている。

**私たちはみな、顔のおおいを取りのけられて、鏡のように主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられて行きます。**

**これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。 2コリント3:18**

とある通りである。このチェンジはまず自分から始まる。人や社会が変わることを求めるのではなく、自らが成長し、キリストの似姿に変えられて行くことを求めよう。そして、この変化が自分の頑張りによってなされるのではなく、御霊なる主の働きによる、つまり、私たちが御霊の導きに積極的に応答し、御霊の指導を受け入れ、罪深い生活習慣や考え方を捨て、神の子どもに相応しい新しい考え方と生活習慣を身につけて行く時に、起きる変化であることを覚えよう。

そこで今年の年間目標としてガラテヤ5：25の一部分である「御霊に導かれて進もう」掲げたいと思う。副題として「神の子供として成長する」としたが、御霊の働きと神の子供たちの成長とは次の三つの理由により、密接に関わっている。

- ★第一にクリスチャンはそもそも御霊によって初めて神の子供とされたことを自覚できる。
- ★第二に、主イエスは御霊を「助け主（新改訳／口語訳）」「弁護者（新共同訳）」と呼んだが、現代風に言えば御霊はクリスチャン一人一人に遣わされる「家庭教師」なのである。聖霊の任務は常に傍らで教え諭し、行くべき道を教え、失敗しても忍耐強く励まして私たちを立ち直らせることなのだ。
- ★第三に御霊は神の子供たちが神より与えられている使命を果たすことができるように、賜物と能力を与え、必要な力を注ぎ、宣教の戦略を導かれる。

このように御霊の働きこそクリスチャン生活の最大の秘密なのであり、この秘密はどこまでも具体的なものであることを覚えよう。神は馬の顔の前にニンジンをつぶら下げるかのように実現不可能な理想を私たちに追い求めさせているのではない。クリスチャン生活は実行可能なものなのである。今まで聖霊との歩み、ということあまり意識して来なかったかも知れないが、新生したクリスチャンであるならば誰もが既に御霊の感化を受けて歩んでいる。それゆえに、私たちも世々の聖徒たちが体験し、証ししてきた御霊の働きを知り、御霊に導かれて歩いて行こうではないか。■

